

【R2. 3. 25 第1回鳴門病院を良くする会資料】

地方独立行政法人徳島県鳴門病院のご紹介 ～信頼され、期待され、愛される病院づくりをめざして～



徳島県 東部医療圏



理念及び基本方針・基本姿勢

理 念

私達は皆様に信頼される病院づくりを目指し
安全な医療を親切に提供することに努めます

基本方針・基本姿勢

- ・ 医療の提供にあたっては 全組織力を結集して **医療事故ゼロ** を目標に努めます
- ・ 患者さま一人ひとりの **権利を尊重** し 最適な医療サービスを的確に提供します
- ・ 安心して医療を受けていただける **安全で快適な環境づくり** をします
- ・ 地域医療の発展に向け **基幹病院としての役割** を正確に果たします
- ・ 積極的に **健診事業** に取り組み 地域の健康づくりに寄与します
- ・ 人間性豊かな **医療人育成** のため いきいきと仕事ができる職場づくりをします
- ・ 組織総合力を高めるべく 互いを尊重し合い 患者さま本位に変革する **知的集団** を目指します

健康保険鳴門病院昭和28年4月28日 開院(200床)



病院の沿革

昭和

- 28年 4月 健康保険鳴門病院として、一般病床50床・結核病床150床の計200床、診療科は内科・外科・眼科、職員数70名にて診療業務を開始
- 29年10月 健康保険鳴門病院付属准看護学院を開設 定員20人
- 33年10月 全国社会保険協会連合会に経営統合
- 39年 7月 救急医療機関に指定
- 57年10月 一般307床・結核50床・伝染27床の計384床に

平成

- 7年 1月 阪神・淡路大震災被災地へ医療救護班派遣
- 9年 3月 災害拠点病院に指定
- 13年 3月 臨床研修病院に指定
- 17年 3月 健康保険鳴門病院新築工事竣工、電子カルテシステム全面運用開始
- 23年10月 地域医療支援病院に指定
- 25年 4月 地方独立行政法人徳島県鳴門病院
- 〃 地方独立行政法人徳島県鳴門病院附属看護専門学校

病院概要

- 許可病床数 307床 （一般病床301床【279床で運用】・ドック6床）
- 診療科 内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科
脳神経外科・皮膚科・形成外科・泌尿器科
産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科
(以上 14 診療科)
- 併設施設 徳島県鳴門病院健康管理センター
徳島県鳴門病院附属看護専門学校

経営状況の推移（H25年度～H30年度）

経営状況

(単位:百万円)

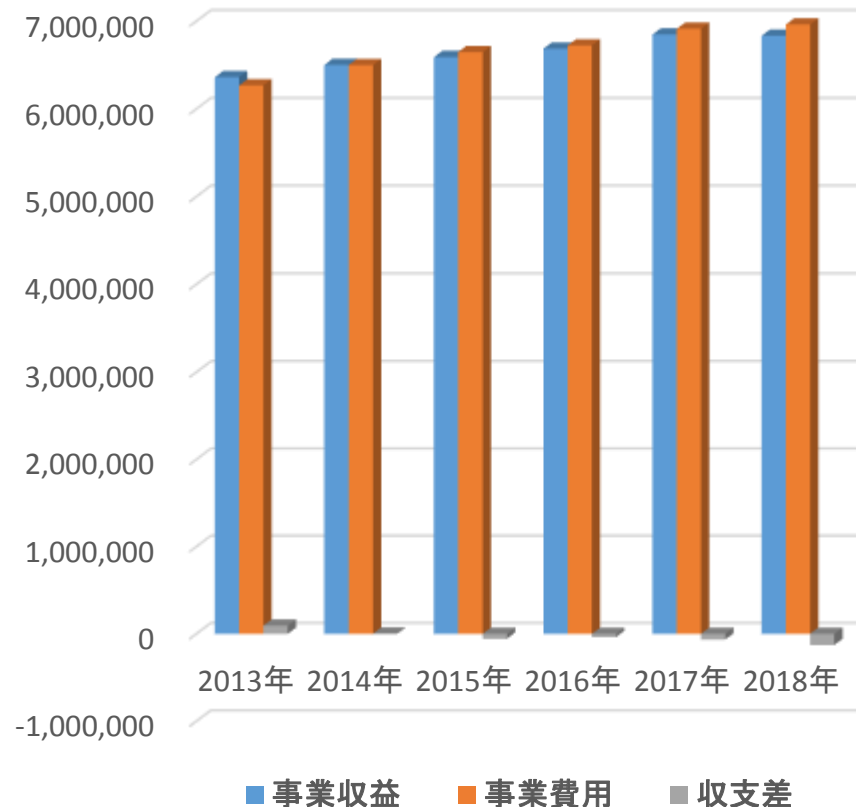
	2013 (H25) 年度	2014 (H26) 年度	2015 (H27) 年度	2016 (H28) 年度	2017 (H29) 年度	2018 (H30) 年度
事業 収益	6,360	6,499	6,590	6,685	6,848	6,833
事業 費用	6,266	6,498	6,646	6,721	6,913	6,961
収支 差	94	1	▲57	▲37	▲65	▲128



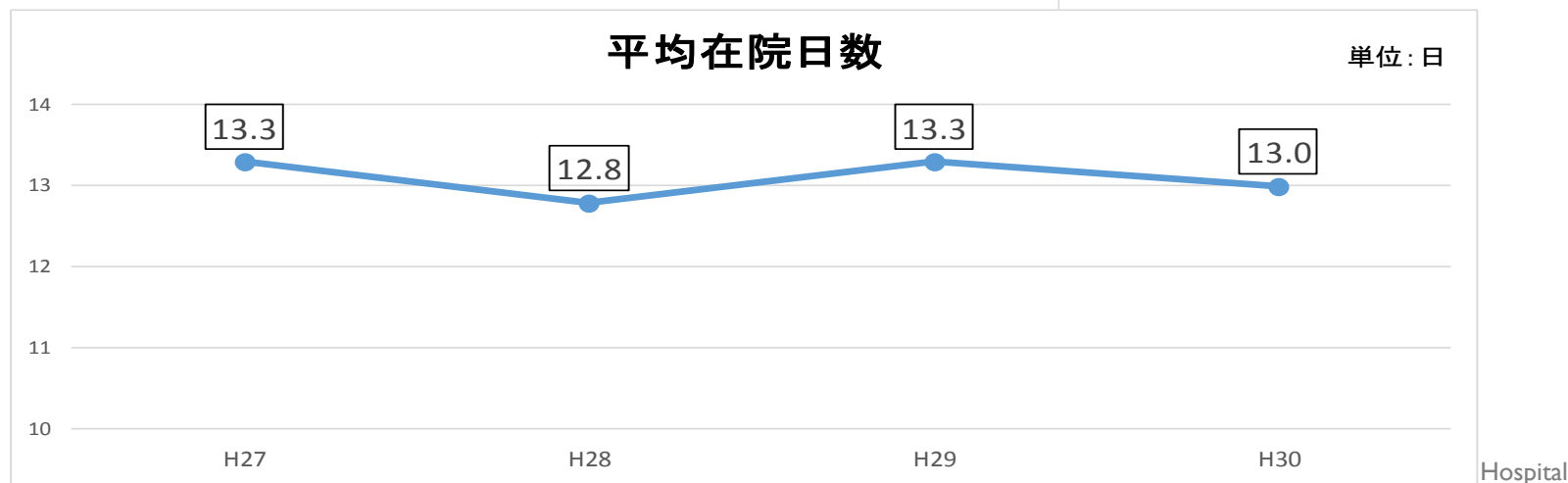
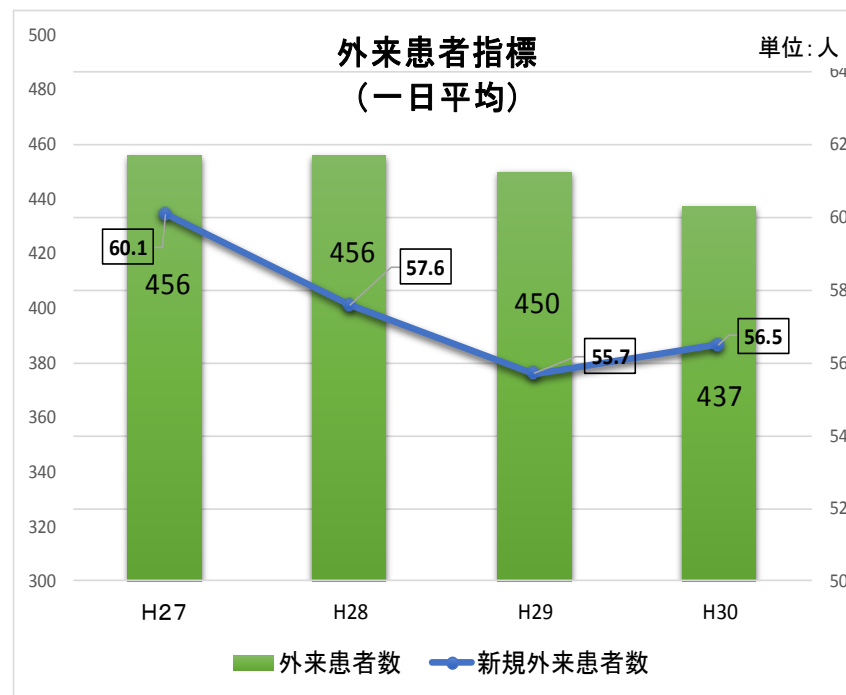
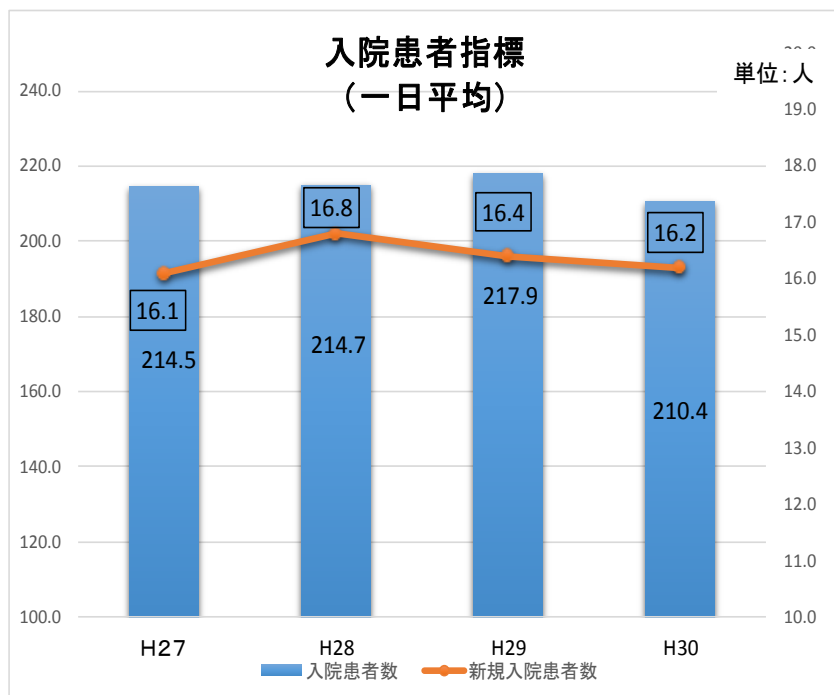
全国の地方独立行政法人所管90病院のうち、H29年度に経常収益に占める「他会計繰入金」の比率が0%の病院は、唯一「当院」のみ
(出典：H29年度地方公営企業決算状況報告)

経営収支

(単位:千円)

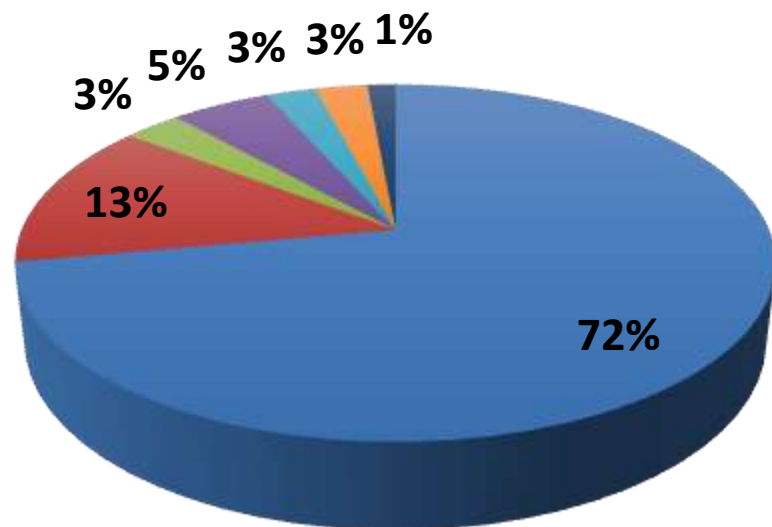


患者数の推移（H27年度～H30年度）

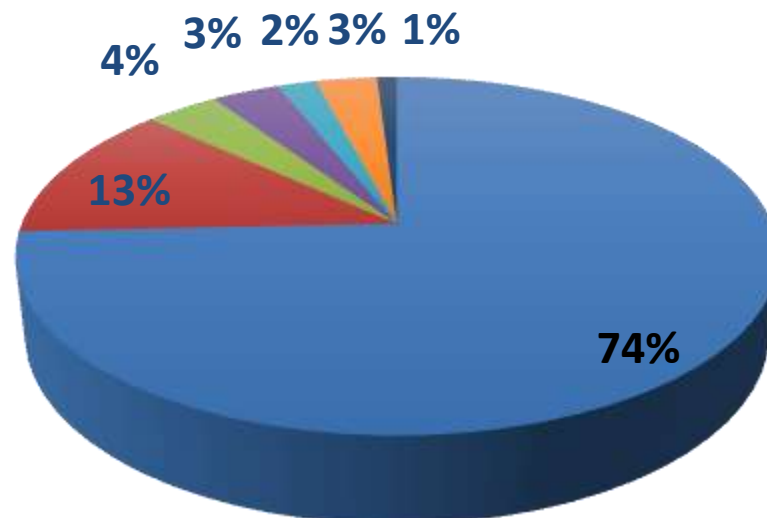


平成30年度入院患者と外来患者の地域別割合

入院患者



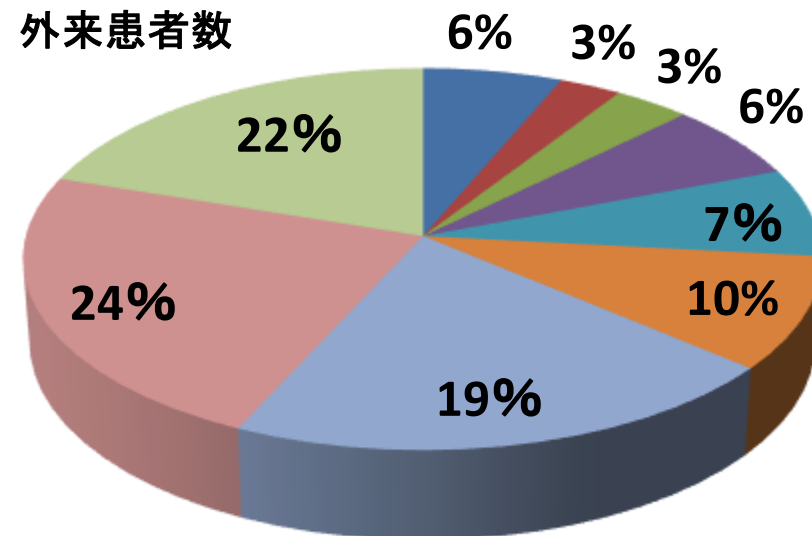
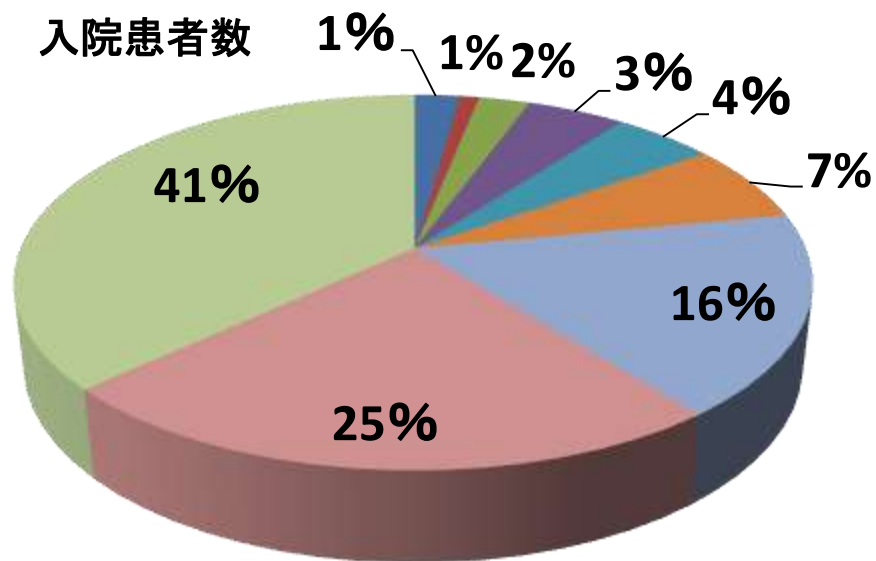
外来患者



■ 鳴門市
 ■ 板野郡
 ■ 徳島市
 ■ その他徳島県
 ■ 香川県
 ■ 兵庫県
 ■ その他

地域名	入院患者数	外来患者（人）
鳴門市	55381	79146
板野郡	10216	13297
徳島市	2226	3954
その他徳島県	3884	3646
香川県	1941	2098
兵庫県	2031	3295
その他	1105	1058

平成30年度年齢別患者数



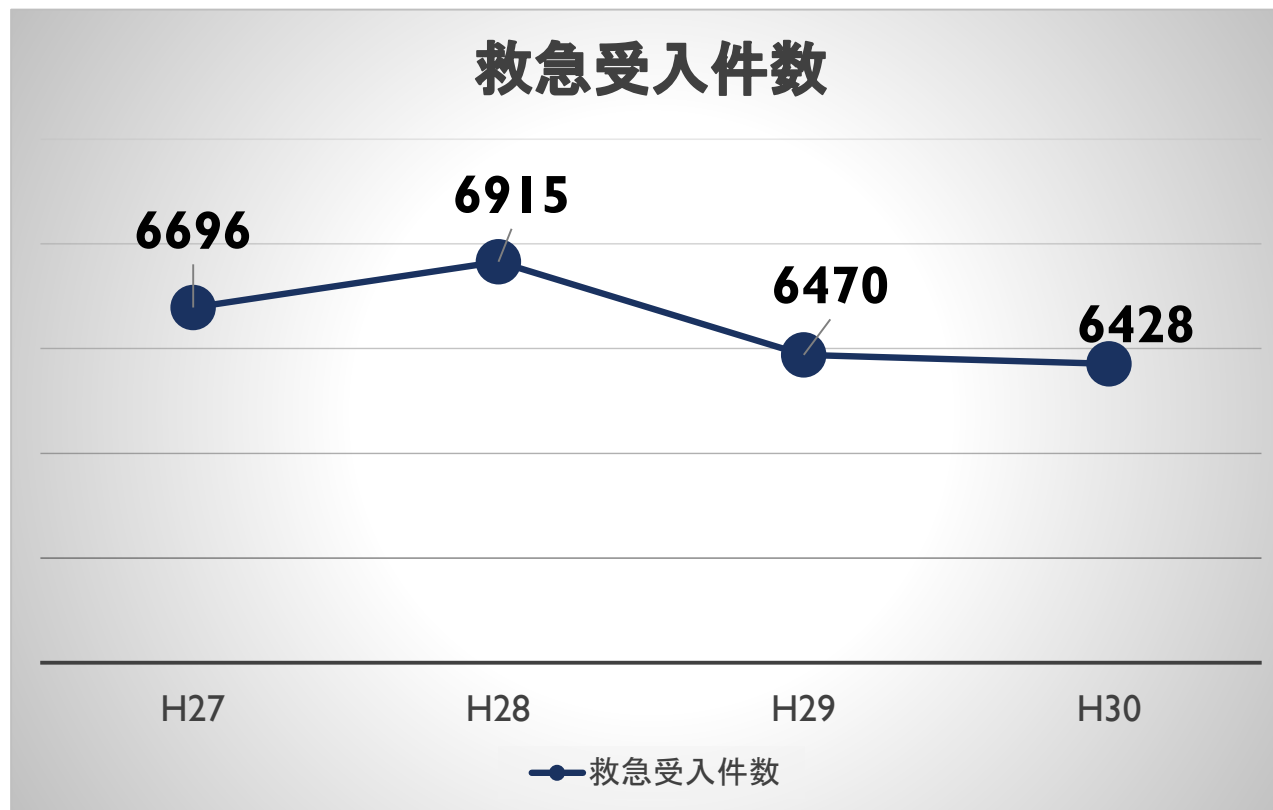
0～10歳未満
30～40歳未満
60～70歳未満

10～20歳未満
40～50歳未満
70～80歳未満

20～30歳未満
50～60歳未満
80歳以上

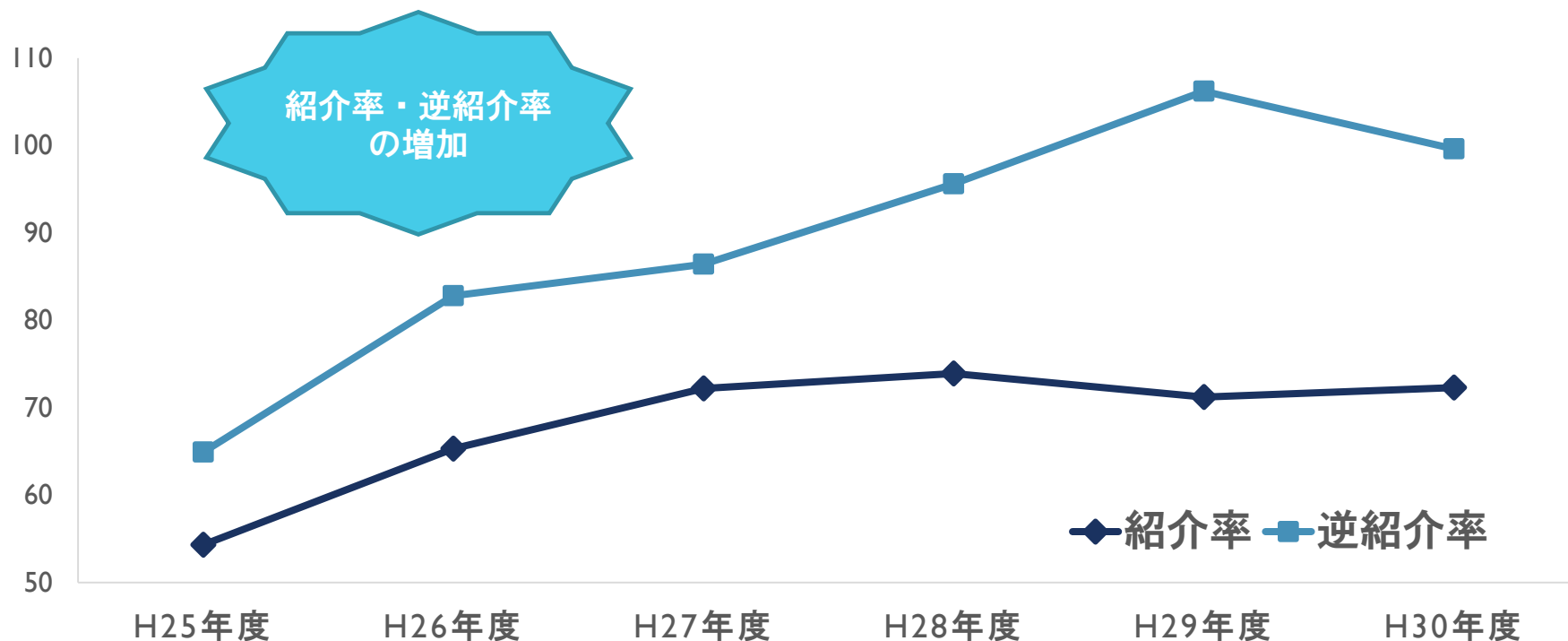
これから二十年は高齢者患者が中心となる。
常に「**高齢者**」の「**急性期疾患**」対応病院のあり方を考える。

救急受入状況



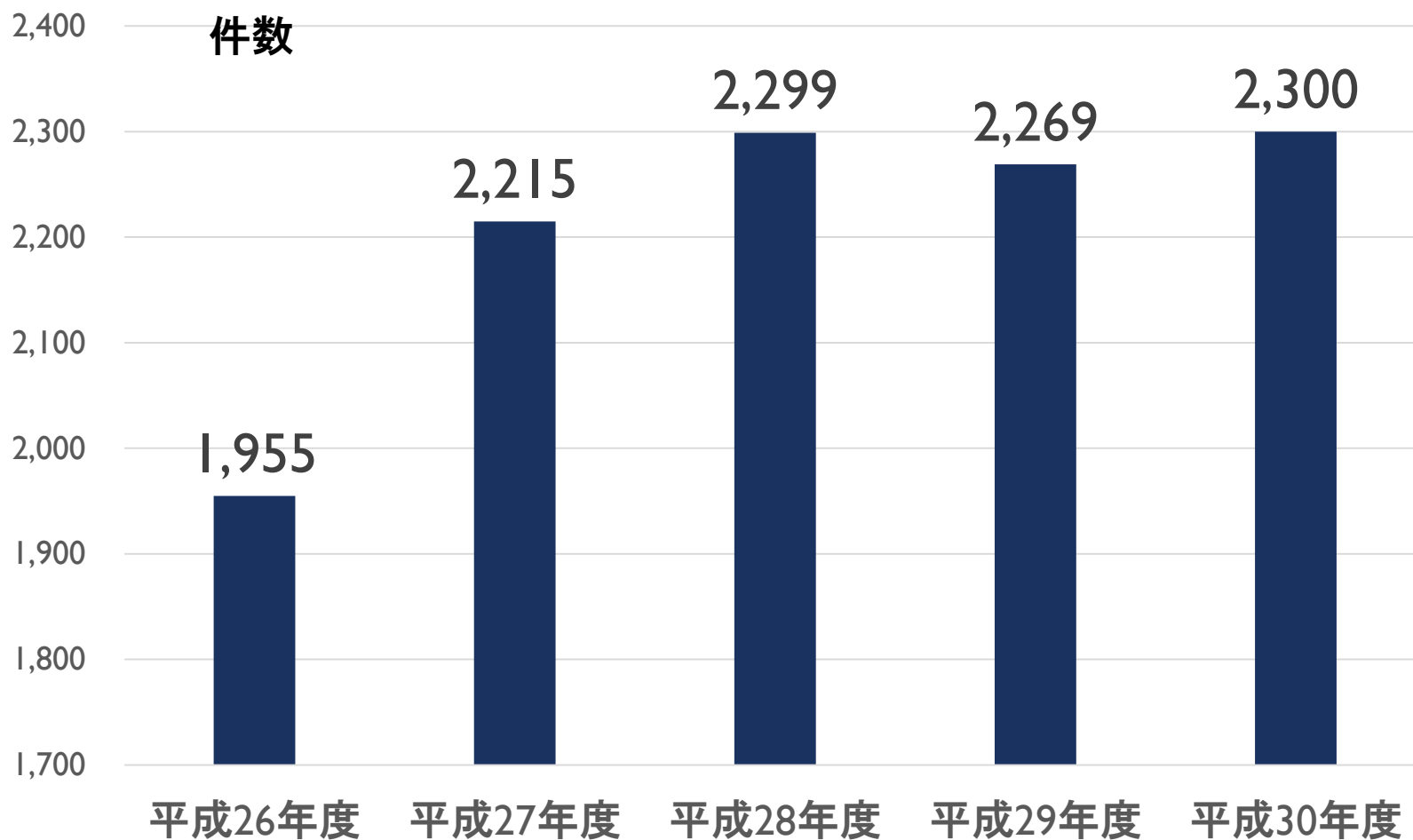
年度	救急搬送（入院）	Walk in（入院）	総計（入院）
H 2 7 年度	2, 2 8 8（1, 4 0 8）	4, 4 0 8（7 1 7）	6, 6 9 6（2, 1 2 5）
H 2 8 年度	2, 4 2 1（1, 5 0 1）	4, 4 9 4（7 3 3）	6, 9 1 5（2, 2 3 4）
H 2 9 年度	2, 3 1 7（1, 4 2 0）	4, 1 5 3（7 1 5）	6, 4 7 0（2, 1 3 5）
H 3 0 年度	2, 1 9 9（1, 3 2 7）	4, 2 2 9（7 0 8）	6, 4 2 8（2, 0 3 5）

病診連携推進努力による結果



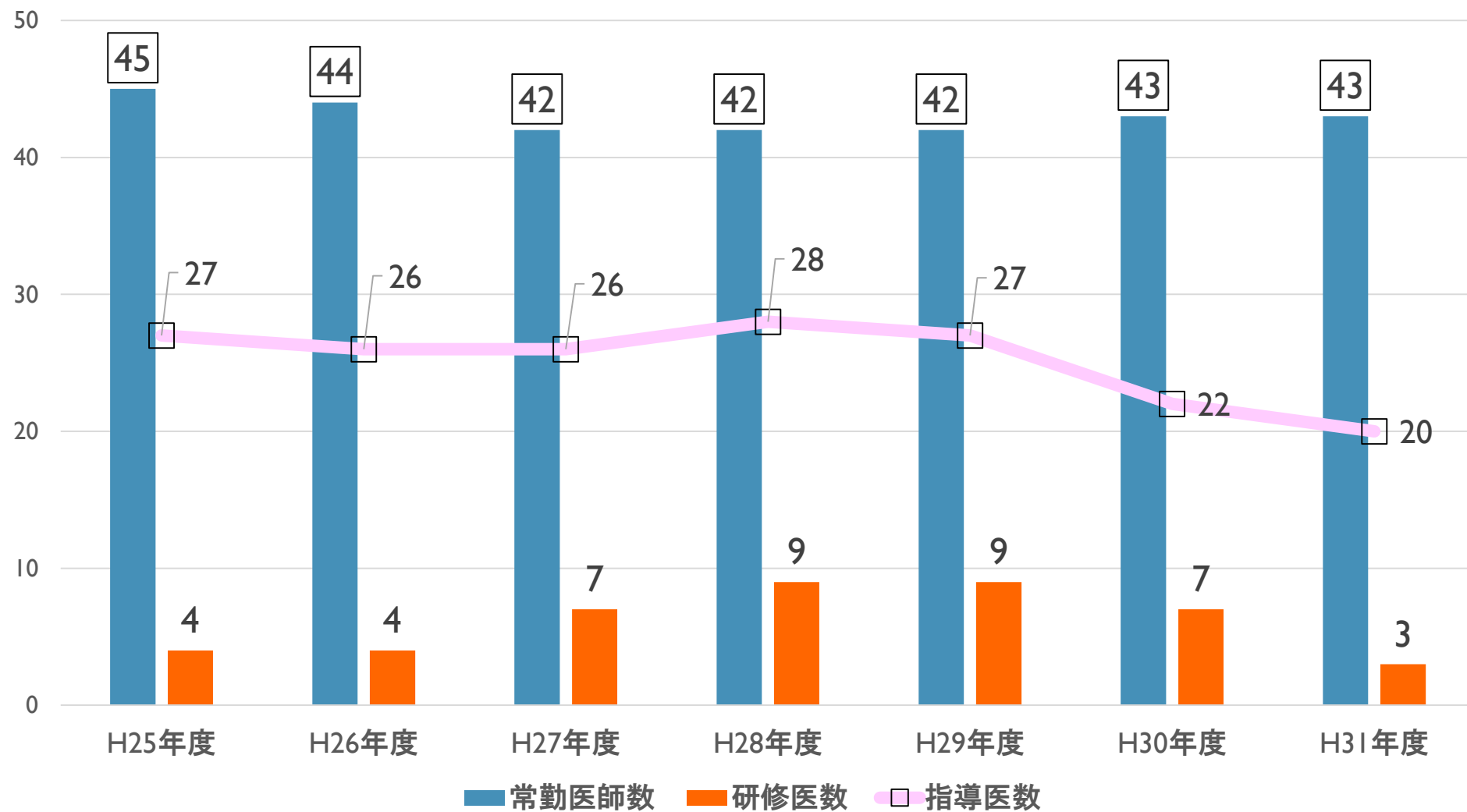
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
紹介率	54.3	65.3	72.2	73.9	71.2	72.3
逆紹介率	64.9	82.8	86.4	95.6	106.2	99.6

手術件数



医師数の推移

各年4月1日時点



徳島県鳴門病院の特徴

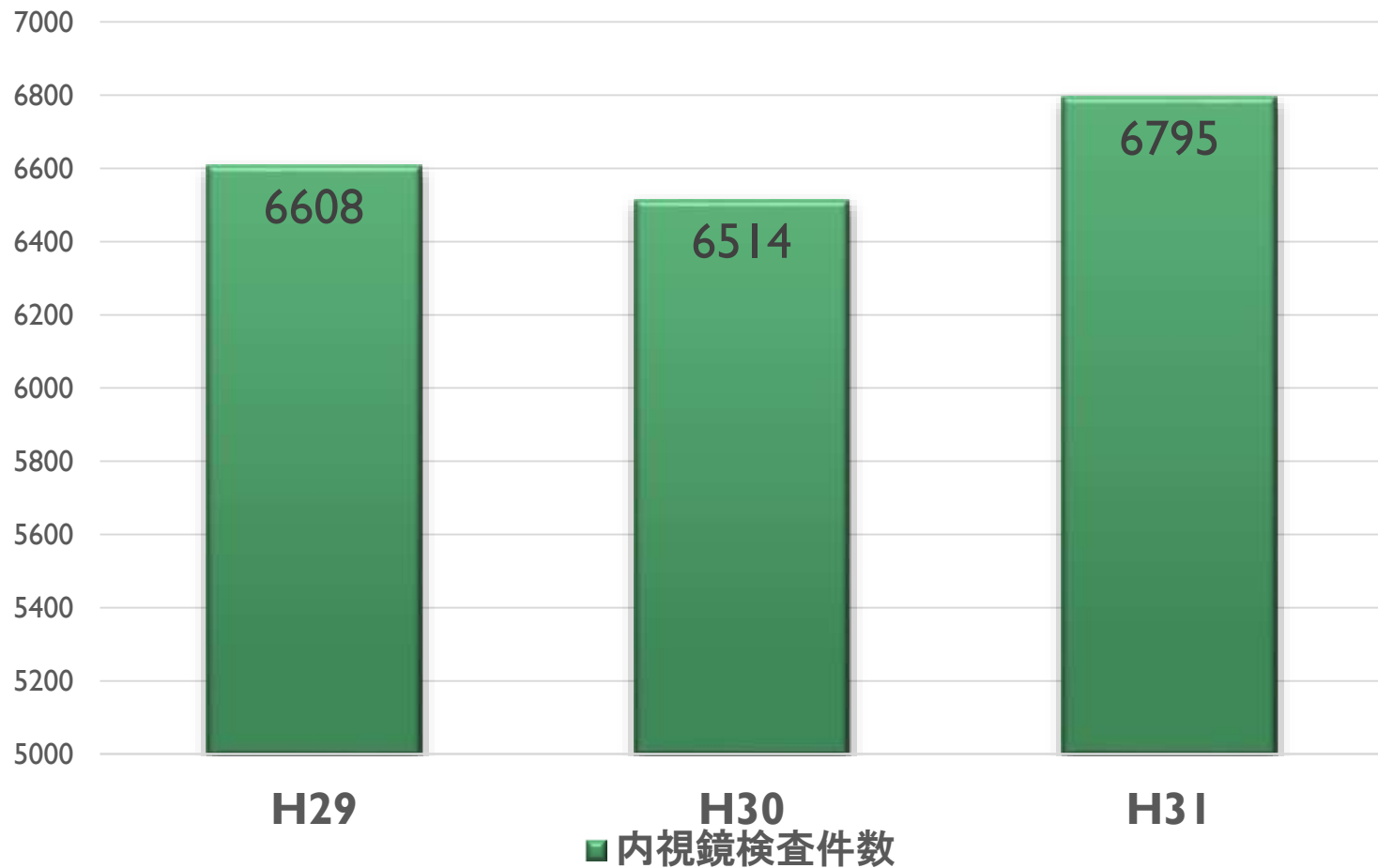
■充実した病院機能

- ①県北部の急性期における中核病院として政策医療に幅広く対応
- ②地域医療支援病院、救急告示病院、災害拠点病院、臨床研修病院等としての機能の充実
- ③総合内視鏡センターや糖尿病・内分泌センター、手の外科センターや脊椎脊髄センターを中心に質の高い医療を推進



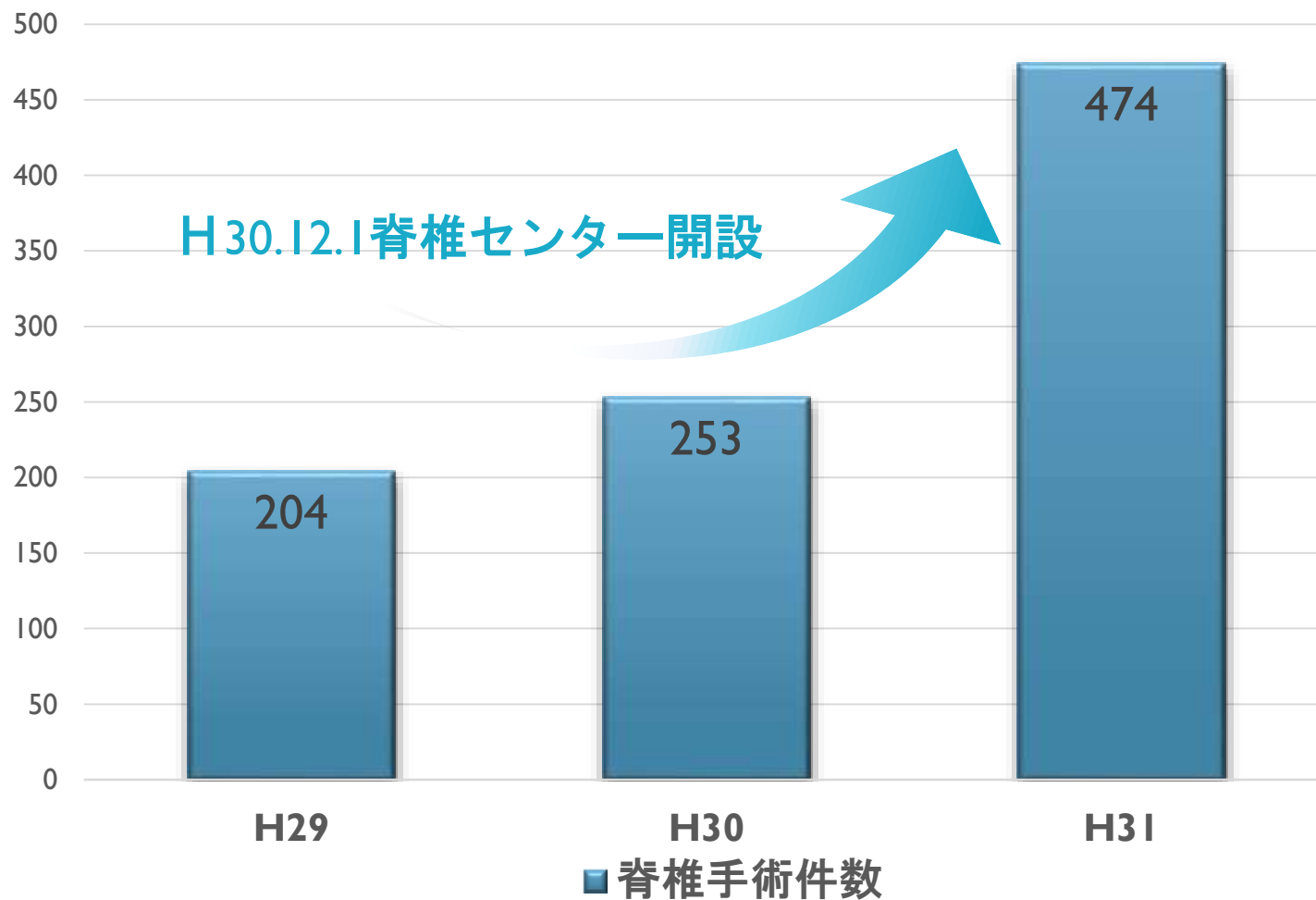
総合内視鏡センターの実績

内視鏡検査件数



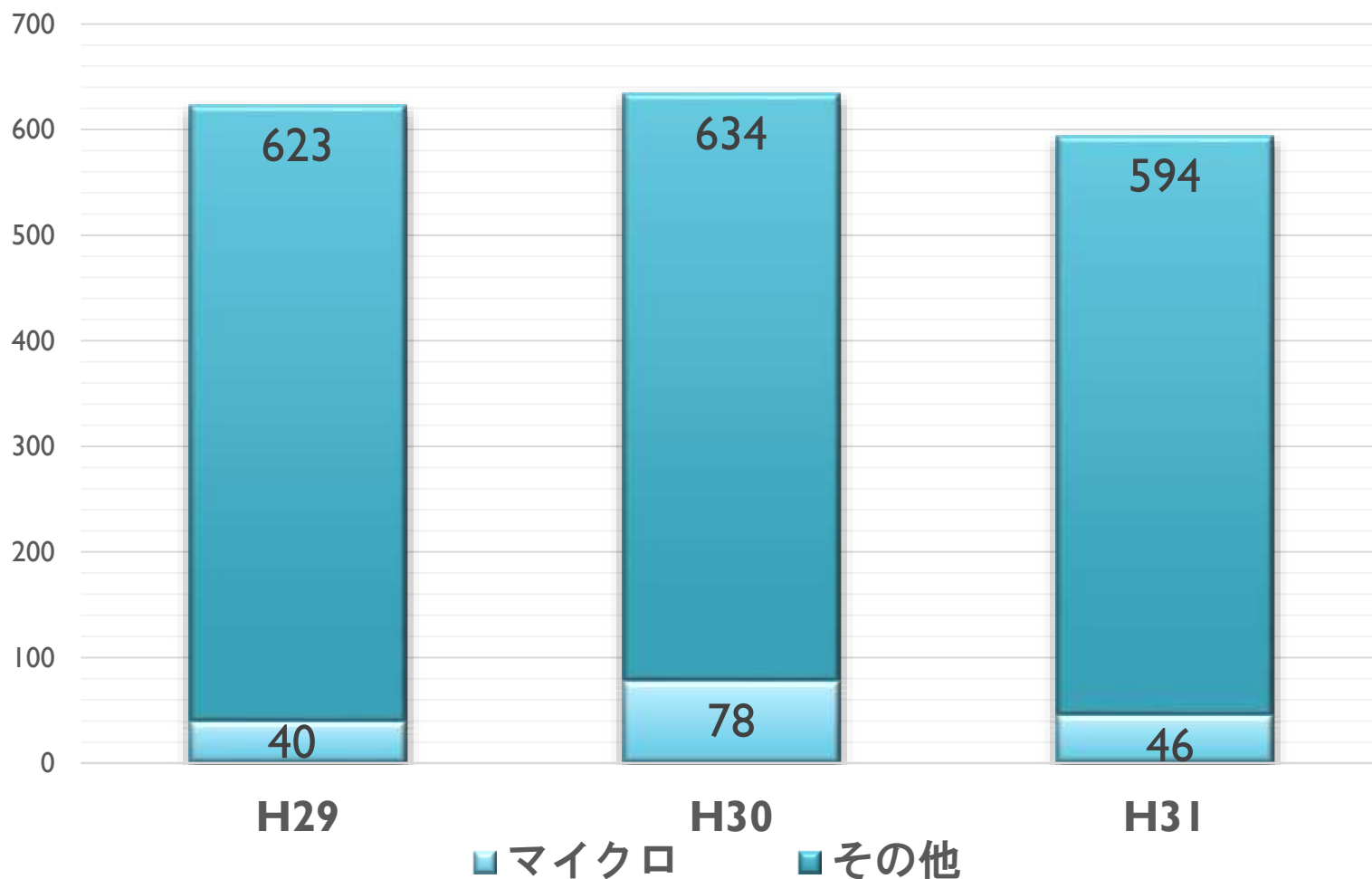
脊椎脊髄センターの実績

脊椎手術件数



手の外科センターの実績

手の外科手術件数



■ 関連機能も充実

■ 健康管理センターや看護専門学校を併設

年間2万人を超える受診者数



健康管理センター

H24年度から7年連続
合格率100%



看護専門学校

今年度の主な取り組み状況

高機能放射線医療機器の導入

- 高精度リニアックの導入（令和元年8月本格稼働）
- PET-CTの新設（令和2年3月末設置予定）



リアルタイム経営情報の全職員共有化

情報共有体制の構築



1. 入院

1-1. 病棟別 在院患者数(24時間時点の在院患者数)

括弧内は(入院患者数:退院患者数)
付属入院ペビは集計対象外

病棟	病床数	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1日当たりの在院患者数			病床利用率		
		水	木	金	土	日	月	火	今週	前週	前月	今週	前週	前月
3東	44床	38名	40名	40名	41名	42名	42名	41名	40.9名	39.7名	38.4名	92.2%	83.4%	87.2%



「経営戦略会議」および 「未来創造タスクフォース会議」の設置、運営

令和元年11月28日 第1回未来創造タスクフォース会議
(飯泉徳島県知事と若手メンバーによる意見交換会)



「患者サポートセンター」「医療安全センター」 「医学教育センター」の3つのセンターを開設

令和元年10月1日 患者サポートセンター開設



診療科別病床利用の見直しと 病床利用率向上に向けた取組み

ワンチーム
手当の支給

現在の診療科別病床数

見直し案

目標値を設定し職員一丸となり目標を達成する

内科	97床
循環器内科	20床
小児科	6床
外科	22床
整形外科	54床
脳神経外科	28床
皮膚科・形成外科・眼科	8床
泌尿器科	12床
産婦人科	20床
HCU	6床
フリー	6床

合計 279床

内科	99床
循環器内科	16床
小児科	6床
外科	22床
整形外科	68床
脳神経外科	22床
皮膚科・形成外科・眼科	8床
泌尿器科	12床
産婦人科	20床
HCU	6床
フリー	6床

病床数の適正化による
病床利用率
UP

合計 279床

「再編統合の必要性について特に議論が必要な全国424病院」の公表と徳島県鳴門病院の“除外”

■令和元年9月26日に、「再編統合の必要性について特に議論が必要な公立・公的医療機関等」として、当院を含む「全国424病院」の名前が公表

「再編・統合」の言葉が一人歩きをし、職員を含む多くの関係者に不安と動揺が広がる



■令和2年1月17日には、一転して「全国424病院」から当院が“除外”されることに

徳島県北部はもとより、東讃・南あわじ地域における当院の果たすべき役割の重要性が改めて認識される

県立3病院との連携

■ 徳島医療コンソーシアム推進協定の締結

県立病院をはじめ県内の公立および公的13医療機関と連携し、地域医療の課題に取り組む

■ 診療材料・医薬品 災害備蓄品の共同購入

スケールメリットを生かした調達による経費削減を図る

■ 先進事例視察

【中央病院】3センターの取り組み

【海部病院】ヘリポート整備

【三好病院】SPD（物流管理システム） など

■ 経営戦略会議への参加 今年度2回実施(3月に3回目実施予定)



令和2年1月20日 徳島医療コンソーシアム推進協定締結式

今後の展望（事務局案①）

1 病院機能の向上のための取組み

- ①救急医療体制の強化
- ②防災・災害対策の推進
- ③がん診療のさらなる高度化
- ④小児・周産期医療の充実
- ⑤地域包括ケアシステムへの貢献

今後の展望（事務局案②）

2 持続可能な病院運営のための取組み

- ①次代を担う人材の
育成
- ②処遇の改善と
働き方改革への対応



展望の実現に向けて

- 「鳴門病院経営戦略会議」における検討の推進（毎月1回開催）
- 「鳴門病院未来創造タスクフォース会議」における提言（3月末最終提言予定）
- 「鳴門病院を良くする会（仮称）」の設置（3月末）から月1回審議（5月末頃最終提言予定）



令和3年度からはじまる

第3期中期目標（県）・中期計画（当院）の策定

**鳴門病院は
政策医療を充実し、より一層信頼され、
期待され、愛される病院へ**



**さらなる進化のための応援を
どうぞよろしくお願いいたします**